

# 情報提供と品質向上を實行

## 全国住宅技術品質協会が全国大会

地盤調査および建物検査の品質向上を目的とし、今年7月1日に設立した「一般社団法人 全国住宅技術品質協会」が、6月24日、東京都千代田区有明の「有明コロシアム」で、第1回全国大会を開催した。同大会には、全国の住宅技術者、品質管理関係者、関係機関など約1200人が参加した。



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

住宅技術品質協会（以下、協会）は、住宅技術者、品質管理関係者、関係機関など約1200人が参加した。同大会には、全国の住宅技術者、品質管理関係者、関係機関など約1200人が参加した。



事業方針を話す 斉藤代表理事

中でも①のリスク情報の提供とその対策の推進を強調し、「日本のどこにいても自然災害がない場所はない。どこにでもリスクがある。リスクにどう対応すればいいのか、どんな対策があるのか、伝わっていない」と指摘した。「いたずらにリスクを伝えるだけでなく、具体的な対策とその費用、ユーザーの皆さんが対策を知ったうえで選択できる環境にしていかなければならない」と述べた。「安い対策費用ではない。技術を研鑽し、できる限り費用を下げることが私たちの使命だ」とも加えた。

り、各種事業は「地盤調査」「補強工事」「建物検査」「測量」の各委員会が行う。広報活動にも力を注ぐ方針で、リスクと対策の情報は量から質の時代へ大転換する。品質改善と技術向上を目指し、私たちのサービスが不可欠であるというものを生み出し、いかなければならない。業界の発展は私たちがこれまで努力したかにかかっている」と述べた。

用、どのくらいの効果があるのかを、しっかりと丁寧にお伝えする必要があります。ユーザーの皆さんが対策を知ったうえで選択できる環境にしていかなければならない」と述べた。「安い対策費用ではない。技術を研鑽し、できる限り費用を下げることが私たちの使命だ」とも加えた。